

「C 消費生活と環境」の分野における指導計画と授業展開例

1. 対象：中学2年生

2. 指導計画案（6時間扱い）

時間	ねらい・学習活動	重点	備考
	<p>現代の消費生活の特徴</p> <p>【ねらい】 日常の生活で使用している物やサービスをお金と交換していることを認識させる。更に収入と支出の特徴について考えさせ、支出には多様な方法があることを知る。</p>		
1	1-1 商品（物やサービス）をお金と交換して消費ながら生活をしていることを認識する。	思	・消費生活の移り変わりについて認識しやすい事例をあげて説明し、現在の消費生活の特徴について考えさせる。
2	1-2 収入と支出のバランスにより家計が成り立っていることを知り、収入の範囲内で商品を購入していることを認識する。	知	・お金をやり繰りしながら商品を購入して生活をしていることを認識させる。収入と支出の特徴と性質について考えさせる。
	2 現代社会におけるいろいろな販売方法や支払い方法を知り、それぞれの長所と短所について考える。	知	・店舗販売と無店舗販売、前払い・即時払い・後払い、多様なキャッシュレス決済、クレジットカード決済のしくみについて知らせる。
			ワークシート ワークシート
	<p>経済的に自立するために必要な力 ～計画的な金銭管理～</p> <p>【ねらい】 消費行動には多くの情報を据えた堅実な意思決定が伴っていることを認識させ、計画的な支出のために予算を立て、日常の消費（購買）の記録をとる力を形成する。</p>		
3	3-1 商品を購入するときに意思決定をしているプロセスがあることを知る。	思	・意思決定のプロセスには、「必需的なもの」と「選択的なもの」とを分ける、優先順位を考える等のことがあることについて知らせる。
・	3-2 意思決定の過程について認識を深めるための演習を行う。	態	・身近な経験を基にした意思決定の事例を通して、私たちは多くの情報を整理しながら意思決定をしていることを認識させる。
4	4 演習（商品や支払い場面を具体的に想定し、限られた収入をどのように有効に使うのか考える）を通して、計画的なお金の管理の仕方を知り、その意味について考える。支出に際して、何を考えたかグループで共有し、より有効な支出についてもう一度考える。	思 ・ 態	・生活に必要な物資・サービスの購入や支払い場面を具体的に示し、演習をしながら計画的な金銭管理の方法と必要性について気づかせる。 ・限られた収入をどのように使うのかグループで話し合わせ、自分のお金の使い方がより有益になるよう工夫させる。
(本時)			ワークシート、行動観察 ワークシート、行動観察、振り返りシート

			【カテイカ CE でさらに展開！】 「修学旅行でいざ実践！買い物記録で金銭管理を学ぼう」
	<p>消費者を支えるしくみを知ろう</p> <p>【ねらい】中学生に身近な消費者トラブルについて理解し、消費者トラブルが起きる理由について考えさせる。倫理的で批判的思考ができる消費者となるために、消費者の権利と責任について具体的な例を上げながら説明できるようになる。</p>		
5	<p>5-1 消費者トラブルの実態について知り、その原因について考えることができる。</p> <p>5-2 消費者の権利と責任について知り、その具体的な行動を説明できる。</p>	<p>思</p> <p>知</p> <p>・思</p>	<p>・消費者と事業者間において情報量と交渉力の格差があることをおさえる。</p> <p>・弱い立場の消費者を守るために多様な法律と制度があることを認識させる。契約における法的な権利と義務（小学校の既習事項の復習）について復習する。</p> <p>・未成年者取消権や消費者の権利と責任について理解させる。</p> <p style="text-align: right;">ワークシート</p>
	<p>環境や社会のために自らが果たせる責任ある消費行動の具体例を知り、実践できる。</p> <p>【ねらい】自分の消費行動が社会や環境に影響を及ぼすことを認識し、持続可能な社会形成のために責任ある消費者として倫理的な消費行動をとる必要があることに気づく。</p>		
6	<p>6-1 自分や家族の消費生活が社会に与える影響について理解する。</p> <p>6-2 自分や家族の消費行動が環境に及ぼす影響について理解する。</p>	<p>思</p> <p>思</p>	<p>・計画的で主体的なエシカルな消費は社会全体により影響をもたらすことを理解させる。</p> <p>・買物は、商品を製造する事業所に対するお金の投票であることを理解させる。</p> <p>・私たちの消費行動は環境にも影響を及ぼすことを理解させ、消費者市民社会の意味について考えさせる。</p> <p>・3R や持続可能な社会形成について理解させる。</p> <p style="text-align: right;">ワークシート</p>

※「物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理」に関する内容については「B 衣食住の生活」の中で主に展開することとする。

※ 社会科〔公民的分野〕における「現代社会を捉える枠組み」、「市場の働きと経済」などとの関連を図るよう配慮する。

※ 購入方法や支払い方法の学習でインターネットを介した通信販売を扱う際には、技術分野の「個人情報の保護の必要性」との学習との関連を図るようにする。

※ 重点の「知」、「思」、「態」はそれぞれ3観点の「知識・技能」、「思考・判断・表現」を示し、重点的に児童の学習状況を見取る観点を示した。

3 本時の目的と授業展開例

(1) 本時のテーマ

経済的に自立するために必要な力 ～計画的な金銭管理～

(2) 目的

予算を立ててお金を支出する経験が乏しい中学生の実態をふまえ、消費行動には多くの情報を据えた堅実な意思決定が伴っていることを理解させたい。具体的な支出の状況を想定した演習に取り組み、予算を立て計画的に支出をすることの大切さを認識させる。さらに、日常の消費（購買）を記録する力をつけさせ、その必要性を認識させる。

(3) 1時間（45分）の展開例

学習活動	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	備考
1 前時の復習	5	○前の時間、買物をする時に私たちは何を考える必要があると学びましたか。 ・優先順位を考えた購入が大切。 ・「必需的なもの」、「選択的なもの」があることについて考えて買物をするのが大切。	・前時の学習シートを見て、振り返りながら共有する。 ・収入と支出のバランスを保ち家計を成り立たせていることを確認し、さらに収入には限りがあることを補足する。 ・「意思決定」の意味を尋ねてみるのもよい。	ワークシート 意思決定チャート
2 【演習】一人の生活を想定し、予算を立てる				
(1) 一人で考える	15	○演習課題として与えられた場面設定が理解できましたか。質問はありませんか。今回はプリント（資料）に示した商品を中心にして、食事の準備を中心として、予算を立ててみましょう。 ・食生活で学んだ中学生に必要な栄養や1日の食事計画を思い出して考えよう。 ・商品の価格を考慮しながら栄養も考えるのは難しい。	・場面設定（家族が急用で出かけることになったため、手持ちのお金で自分の食事を準備しなければならなくなった）を共有する。 ・自分の調理技術と「物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理」で学んだことを思い出させ、自宅にあるものと新たに購入する食品とで、栄養と健康を考えた食事計画をイメージさせる。 ・食事計画をふまえて、次に予算計画を立てさせる。	ワークシート 商品に記載した資料
(2) 自分で考えたことを班で共有する	10	○自分が何を考えて、どんな商品を選んだか他の人に説明しましょう。	・自分の選択した商品とその選択基準について、タブレットで共有し、各自の考えについて班で発表させる。	タブレット
(3) 自分の予算を修正する	5	○班の人の予算計画を聞いて、自分の予算に反映させたいことがあったら修正しましょう。	・他の発表者の予算計画の工夫を自分の計画に取り入れさせる。	

<p>4 本時の学習を振り返る</p>	<p>10</p>	<p>○皆さんたちが経済的に自立したら今日の演習のようなことを毎日する訳です。今日の学習を振り返って、予算を立てる意味についてどのように考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな商品を選ぶときに何を基準にしたらよいか迷った。それに加えて予算内で商品を選ぶことは難しかった。予算を立てることは生活をすすめる上で大切なポイントの一つだとわかった。 ・予算をオーバーしてしまうとそのしわ寄せが後の生活に響くことを予想した。だから予算内で支出計画を立てることは大切なことだ。 <p>○商品の購入をする時に支出の記録をすることについて、あなたはどんな意味があると考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の演習のような短期間の支出の場合は概算でよいかもしれないが、長期になると予算の計画通りできなかつたしわ寄せが後に問題になると思うので、記録を取っておくことは大切なポイントになると思った。 ・できるだけ残金が残るように予算を立てたいという気持ちが強くなった。 <p>○消費者として私たちが身につけたいことは、今日の演習で考えたこと以外にどんなことがあるか考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の品質や機能を見極める力 ・補償やアフターサービスについて知る力 	<p>・振り返りシートは評価の対象にしないことを伝える。</p> <p>・本時の目的に沿って、自分が考えたことをまとめさせる。</p> <p>・記入に時間がかかる場合、宿題等の時間外の課題として取り組ませてもよい。</p> <p>・記録の方法は、スマホのアプリを使ってもできる。自分に合った方法で記録を取っておくことが大切であることも伝える。</p> <p>・キャスレス決済の場合、記録を確認する習慣をつけることも大切である。</p> <p>・これまでの学習を振り返って食品だけではなく、洋服などを購入する場面も想像させながら考えさせる。</p> <p>・これからの学習で、この問いの答えがさらに深まることを伝える。</p>	<p>振り返りシート</p>
<p>5 次時間の予告</p>		<p>○次の時間は消費者トラブルの実態やそれが起きる理由について考えましょう。</p>	<p>・今日の学習のように、消費者は自分の生活を運営する力をつける必要があるが、消費者が社会で守られている仕組みがあることも補足する。</p>	